



公益社団法人 兵庫工業会  
理事 久木元悦子  
(株式会社関西工事 代表取締役)



# 兵庫工業会 NEWS

2019年11月号

発行/公益社団法人 兵庫工業会

No.292

## 人生百年を健康に生きる

■ 巻頭言 ■

兵庫工業会の皆様には、日頃より大変お世話になっております。平成27年に入会させて頂き、平成29年より理事を仰せつかっております株式会社関西工事の久木元悦子です。この度は兵庫工業会ニュースの巻頭言のご依頼をいただき光栄でございます。

弊社は夫の久木元明が起業し、今年で創業48年を迎えます。ステンレス溶接が得意な化学プラント配管工事業を営む小さな工事屋です。当初は事務所も持たず、少人数の職人集団でした。早朝駅前で集合し、それぞれの現場に出発していました。「家を持つと夜逃げができない」が主人の口癖でした。2子を年子で高齢出産しました。子育てに追われながら結婚前から子供服店を経営、2人目出産後に継続不可能と決断し、泣く泣く閉店しました。関西工事では給料計算から経理全般を一人で行っていました。初めて手形取引を知り、割引手数料の高さに驚愕しました。金融機関との関わりを痛感いたしました。信用取引に必要な財産を持っていない！と言うことで、自宅を購入しました。主人の夢は工場を持つ事だと知り、貸工場も手に入れました。ところが、貸工場の家主とのトラブルにうんざりして自社工場を購入しました。このタイミングで税務調査が入り、法人化して代表取締役に私が就任する事になりました。この頃に、股関節痛を発症したことが自分の健康と向き合う契機になりました。

もともと肩こりや片頭痛、不整脈と虚弱体質な上に温泉で転倒し、仙骨に大怪我を負いました。そして有機ゲルマニウム温浴と運命的な出会いをしたことが、モノづくりのきっかけになりました。我々が考えた健康法は、まず手足温浴で末梢血管を暖めて血液を温めます。次にヒーターで温めた那智黒石の遠赤パワーとゲルマニウムの電気制御機能で内臓を暖めます。体の隅々まで血行が良くなり、体温が上昇します。この方法で温め続け、自分自身の体調改善を確認するのに十年を要しました。我々のモノづくりの対象は自分自身です。自分自身で効果を確認する事で自分達と同じ悩みを持つ方に役立つと考えています。気付けば私の股関節痛や不整脈はもとより歯のトラブルまでも無くなっていました。ここ何年かは病院のお世話にもならず現在も健康維持を継続中。医療費削減に貢献出来ていると思います。自分の名を付けた「どこでも岩盤浴悦ちゃん」シリーズは私の創作です。運命を感じた温浴機はステンレス製。最初に出会った温浴機の不具合を改良し続け、気付けばオンリーワンの製品が完成していました。本業の溶接技術を駆使し、コンパクトで簡単に隅々まで掃除のできる衛生的な温浴機が完成しました。公的機関からご支援を頂き、モノづくり補助金の採択を受け、安全対策では兵庫県工業技術センターの力を拝借して完成したお墨付きの健康機器です。人生百年時代に健康維持の一つとして「温める健康法」も選択肢に入れて頂けるように頑張っています。兵庫工業会の会員となり、これからも優れた社長様達と出会い、勉強会等で得た知識を自社の繁栄につなげ、社会貢献できるように頑張ります。

# 近畿経済産業局との意見交換会について

兵庫工業会では、平成24年度より毎年「経済産業省 近畿経済産業局」と毎年意見交換会を実施してまいり、経済産業省の施策を説明していただいています。内容としましては次年度の予算の概算要求について、主に中小企業向けの補助金や支援施策をお話しいただいています。

今年度より公募形式をとりまして、参加希望される方にご出席いただくことといたしました。

今年度は2019年10月24日(木)、兵庫県学校厚生会館にて開催し、近畿経済産業局からの参加者は産業部より部長、次長、課長の幹部クラス9名と地域経済部より課長1名の計10名、兵庫工業会側の参加者は正副会長3名、会員企業9名、事務局4名、兵庫県産業労働部及び神戸市経済観光局よりそれぞれ1名ずつの計18名、合計28名で、意見交換会を開催いたしました。



意見交換会の様子（近畿経済産業局側）



意見交換会の様子（兵庫工業会側）

今年度、近畿経済産業局より説明いただきました施策の内容は以下の通りです。

（詳細については近畿経済産業局のHP <https://www.kansai.meti.go.jp/>の中の「施策のご案内をご覧ください。」）

- ① 製造産業課
  - ・航空機産業支援 ・CNF（セルロースナノファイバー）実用化支援 ・外国人材受入支援
- ② 産業振興室
  - ・新連携支援事業 ・地域産業資源活用事業 ・農商工等連携事業 ・JAPANブランド育成支援事業
- ③ 創業・経営支援課
  - ・ベンチャーエコシステムの構築（関西ベンチャーサポーターズ会議の設置、ベンチャー型事業承継の推進）
- ④ 中小企業課
  - ・中小企業における事業承継 ・中小企業強靱化法
- ⑤ 流通・サービス産業課
  - ・サービス産業の生産性向上支援
- ⑥ その他
  - ・生産性向上のためのロボット導入 ・韓国との経済情勢 ・中小企業の人材確保・育成
  - ・下請法・独占禁止法・下請中小企業振興法 ・万博について

施策説明の後は参加者と近畿経済産業局の間で意見交換を行い、意見交換会の後の懇親会まで熱心に討論が続いて、皆様のお話が途切れることは無く、中締めとなりました。

これまで参加された方も発言されていましたが、この意見交換会で近畿経済産業局のいろいろな施策が理解できて、非常に役に立ったと言われる方が多くいらっしゃいました。参加される前までは近畿経済産業局の幹部の方とお話しするのは気が引けるといいう方が多いのですが、これから毎年参加者を公募いたしますので、多数の方がご応募いただくよう、お待ちしております。

# 大学生の県内就職に向けた1DAYインターンシップを実施

兵庫工業会では9月20日に兵庫県、ラジオ関西と連携し、兵庫県が提供するラジオ関西の就活応援番組「ネイビーズアフロのレディGO! HYOGO」の放送において大学生の県内就職に向けた1DAYインターンシップを実施しました。参加者は兵庫県立大学国際商経学部2年生5名（男2名、女3名）で、神戸市西区にあるシスメックス(株)、カルモ鋳工(株)の2社を訪問し、その様子は、10月4日と11日にラジオ関西で放送されました。

まず、検体検査に必要な機器、試薬、ソフトウェアを提供するヘルスケア企業であるシスメックス(株)のテクノパークを訪問し、シスメックスの歴史や技術を紹介する展示室・研究開発部門のオフィス・生産エリアなどを見学しました。テクノパークは敷地の半分以上を占める公園、日本庭園、茶室など、日本文化の伝統を重んじた環境が保たれていた。広大な公園のような敷地の中にある近代的できれいな最新のオフィスに参加者は「きれい！こんな環境で働きたい。」と目を輝かせていました。

また、社員食堂で昼食を取りながらの若手社員との意見交換では、志望動機は？、専門分野と担当の仕事は合致していますか？などの質問のやりとりがありました。

次に非鉄金属鋳物メーカーであるカルモ鋳工(株)を訪問しました。こちらはまさにものづくりの工場という感じで、75年の社歴、N系新幹線のブレーキ周りの部品は100%カルモ鋳工ですとの説明に加えてマシニングセンターや三次元測定機など高価な設備の説明にテンションが上がった様子でした。女性がイキイキと働いている一方、アットホームな雰囲気があり、社員の皆さんが見学途中に挨拶をして下さり「こんな経験は初めてでした。」と喜んでいただけました。

意見交換では、参加者より女性社員が少ないが女性の方はどのように感じていますか？営業の仕事はどのようなもの？採用基準は何ですか？配属の基準は何？本人の希望は聞いてくれますか？など積極的に質問していました。

1社あたり約2時間で、会社概要説明・見学だけではなく、若手社員との意見交換を行いました。短時間でしたが、合同説明会などとは異なり、実際の社員と交流し、社風も含め味わって頂きました。

1DAYインターンシップを終えての感想は、地元こんなにすごい会社があることを知らなかった。就活ではいろんな会社を見たい。ホームページを見るだけでは分からない貴重な体験ができた喜んで頂きました。

\*ネイビーズアフロとは、吉本興業所属のお笑いコンビ。

「第49回NHK上方漫才コンテスト」決勝に進出（2019年）するなど、躍進目覚ましい若手漫才師です。移動中のバスでも学生たちを笑わせて楽しい雰囲気でも盛り上げていました。



移動中のバス車内収録風景



シスメックス(株)での質疑応答



シスメックス(株)での記念写真



カルモ鋳工(株)での鋳造体験



カルモ鋳工(株)で若手社員との意見交換

# 2019年度会員交流見学会ご報告

兵庫工業会では、会員相互の見聞を広め交流を深めることを目的として、会員交流見学会を毎年実施しております。今年は10月29日(火)～30日(水)の1泊2日で鳥取県にある企業3社及び陸上自衛隊米子駐屯地の見学と皆生温泉にて交流懇親会を開催いたしました。

## ☆株式会社鳥取メカシステム

株式会社鳥取メカシステムは、1971年に部品加工メーカーとして創業。その後、設計、組立、電気、ソフトウェアと業務を拡張して、現在では自動化製造設備のスペシャリストとして、電子・電機、機械、医療・薬品、衣料、食品等の多岐にわたる分野の製造設備に対応されています。



株式会社鳥取メカシステムでの企業説明風景



ニッポン高度紙工業株式会社での集合写真

## ☆ニッポン高度紙工業株式会社

ニッポン高度紙工業株式会社は、1941年に高知県で創業。アルミ電解コンデンサや電池用のセパレータとして使われている高耐水・高耐熱性の特殊な紙を製造されています。日本国内で95%、世界で60%と紙の分野の中のニッチな市場で非常に高いシェアを占められています。

今回見学した鳥取県の米子工場は大規模地震等での供給体制のリスク分散のために本社のある高知県から離れた場所に作られた工場です。非常に広大な敷地の工場を3組3交代42名で運用されていて、モニタールームで現場の状況を監視している自動化の進んだ工場でした。

## ☆陸上自衛隊 米子駐屯地

陸上自衛隊 米子駐屯地は日本の山陰防衛の要衝であり、また大規模な災害が発生したときには、災害派遣により救助活動や復旧支援等で活躍されています。今回は陸上自衛隊の各種装備や資料館を見学しました。



陸上自衛隊 米子駐屯地の戦車の前での集合写真



千代むすび酒造株式会社での日本酒・スパークリング清酒の試飲風景

## ☆千代むすび酒造株式会社

慶応元年（1865年）創業の老舗酒蔵であり、地元の農産物を活用したお酒を造っています。特に鳥取県産のお米の強力を使用したお酒が美味しく、試飲の後、参加者の多くの方がお土産に買い求めていらっしゃいました。千代むすび酒造株式会社では、日本酒だけでなく、焼酎・リキュール・スパークリング清酒等も製造されていて、6月に開催されたG20大阪サミットでもスパークリング清酒を提供されていました。

## ☆皆生温泉

会員交流見学会の目玉である「懇親会」は、鳥取県の海辺の温泉街の皆生温泉で行い、海の幸や大山和牛に舌鼓を打ちながら、参加された皆様全員和気あいあいと交流されていました。

今回の見学会では、見学させていただきました各企業の皆様と鳥取県米子市役所の関係者の皆様には、大変お世話になりました。本紙面をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

# (株) ジェイテクト刈谷工場 日本車輛製造 (株) 豊川製作所 見学ご報告

2019年度 産業・技術振興事業の第1回見学会は10月31日(木)に実施いたしました。今回の見学会は参加者数33名となり、愛知県の(株)ジェイテクト刈谷工場、日本車輛製造(株)豊川製作所を見学しました。行程・見学スケジュールは以下の通りです

08:45	JR名古屋駅 集合・出発
10:00~11:50	(株)ジェイテクト刈谷工場 着・見学
12:00	(株)ジェイテクト刈谷工場 発
12:00~14:00	移動~昼食~移動
14:00~16:00	日本車輛製造(株)豊川製作所 着・見学
16:00	日本車輛製造(株)豊川製作所 発
16:30	JR豊橋駅 着・解散



(株)ジェイテクトの会議室にて

## (株)ジェイテクト刈谷工場

ここ刈谷工場は元々豊田工機の本社工場だったところです。2006年に工作機械のTOYODA、軸受けのKoyoが合併し、新たにJTEKTが誕生しました。Jが表現するものは、JOINT、JOY、JAPAN。TEKTが表現するものは、古代ギリシャ語で「卓越した技術を持つ者」を意味する「Tekton」を短縮したものと説明で聞くことができました。刈谷工場は工作機械、制御機器を製作している工場であり、また、自動車メーカーとの取引が多くある会社だけに、生産現場ではIoE (IoTを拡大したインターネット・オブ・エブリシング) を活用し、人が主役のスマートファクトリー、いろいろな設備の情報をつなぎ、工場全体を見る化して、現場にあるモニターで情報表示できるようになっていました。

80年近く経過した工場になりますが、職場では4Sが行き届いていました。



永田執行役員の挨拶



職場で説明を聞く参加者の皆さん



(株)ジェイテクト玄関前で

## 日本車輛製造(株)豊川製作所

今年の8月に新幹線車両納入、4,000両達成の式典を終えたばかりの鉄道車両工場です。まず始めに会議室に入り、熊田所長から日本車輛の概要、続いて豊川製作所の概要の説明を受け、会社紹介のDVDが映されました。豊川製作所は約1,200名が働いている工場になります。大変広い工場で、ここでは重量物運搬用車両やタンクセミトレーラーなども製作しています。工場見学では部品加工、台車組立、構体組立、艤装組立の職場を見学しましたが、品質管理、生産性向上、労働災害防止活動の取組み、また、鉄道車両製造はまだまだ労働集約型産業でもあり、改善活動など、日々の作業の様子を伺うことができました。現在、製作している新幹線の艤装も見ることができましたが、次からは新型新幹線の製作が始まるとの説明を聞くことができました。



展示車両の前で



説明を聞く参加者の皆さん



熊田所長の説明

# 第37回管理監督者研修 ご報告

9月13日(金)～14日(土)に49名の参加者を迎えて、加古川プラザホテルにて「第37回管理監督者研修」を実施いたしました。今年度から「リーダー・係長クラス」の講師として前田 剛氏に担当いただくことになりました。参加者一同を前に宮協会長より開会挨拶の後、各クラスに分かれて研修が始まりました。



宮協会長による開会挨拶

「リーダーに求められるものとは何か？」それぞれのキャリアでスキルアップが求められる事項は様々です。人の管理に必要な知識を習得し、「優秀なリーダー・管理職」として活躍していただくために、今回も2日間にわたり、階層別に区分けして受講者それぞれのキャリアアップに資する内容で実施いたしました。また、「働き方改革」が叫ばれる今、管理者に求められる労務管理の知識と改正された労働法を理解し、業務へフィードバックしていただくため、社会保険労務士の小垂講師による「労働環境と労働法制について」の講義もクラス毎に行いました。



リーダー・係長クラス講義風景



管理職クラスでのグループ実習

夕食時の参加者交流会では、昨年にも増して活発に他社の方々との情報交換が時間を延長して行われ、異業種交流の場としても有効に活用いただきました。

参加者の方々からも、「他社の方との意見交換が良い刺激となった」「管理職としてのあるべき姿・目標を示していただいたので、自分の業務の棚卸と目標設定ができた」「2月実施のフォローアップ研修までに業務改善に取り組みたい」などのお声をいただいております。

今回の参加者からのアンケート結果とそれに基づく人材育成委員会での議論をもとに、来年度もより良い研修にしていきたいと思いますので、より多くの方がご参加いただけますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



参加者交流会

**※来年度は、同じ会場にて9月11日(金)～12日(土)開催予定です。**

# 兵庫バイオインダストリー研究会 第1回見学会“あべのハルカスバックヤードツアー”のご報告

9月10日(火)、兵庫バイオインダストリー研究会の主催で、今年度の第1回見学会を開催しました。

今回は竣工後、5年が経った日本一の超高層ビル「あべのハルカス」のバックヤードを見学しました。普段は見ることのできないビルの裏側や関係者以外立入禁止の場所、それは、17階の吹抜け、地下5階の雨水貯水槽やバイオガス設備、15階の各種発電設備、そして56階の最新の制振振り子装置などです。

17階からの吹抜けは100mの高さがあり、自然の光と風（外気）が通りぬけ、呼吸をしているように感じます。

周囲はガラス張りなので、外側からも見ることはできますが、中には入れない場所です。

また、ビル内では1日約2トンの生ゴミが発生しています。それを1ヵ所（メタン発酵槽）に集め、発酵させたメタンガスと都市ガスを混合し、コージェネレーション発電をするなど、高層ビルでは日本で初めての試みを行なっていました。これらの設備はいずれも省エネ、省CO2を実現しています。

高さ300mのビルであるため耐震構造×制振構造の最新技術も見ることができ、震度7クラスの地震でも想定した安全性が確保できています。そこにはホテル、オフィス、観光、憩いショッピング等、小さな立体都市がありました。

例年の見学会で同時開催しています講演会を今回は開催できませんでしたが、2020年3月に開催を予定しています。

兵庫バイオインダストリー研究会では広く会員を募っていますので、皆様のご参加をお待ちしております。



バイオガス発生の仕組みの説明を聞く参加者



コージェネレーション発電設備において



タワーマンションも低く見えます



参加者の皆さん（最上階テラスにて）

## 兵庫バイオインダストリー研究会 今後の予定

第2回見学会

2019年12月～2020年1月

幹事会・定例会(講演会)

2020年3月6日

# くすのき会 県外研修 ご報告

10月25日(金) くすのき会県外研修として、(株)アマダ・ソリューションセンター、(株)神戸製鋼所 藤沢事業所を訪問、見学させていただきました。

当日参加者13名は各自早朝に出発し、9:00新横浜駅集合の上、貸切バスで伊勢原市にある(株)アマダへ移動いたしました。

## (株)アマダ

当日は千葉県内で災害が発生するほどの大雨という天候で、バスも渋滞に巻き込まれての移動となりましたが、無事(株)アマダ・ソリューションセンターへ到着することができました。

こちらの施設は非常に大規模な施設で、業界最先端のモノづくりの特別講演会や、新商品の内見会・発表会の開催、さらに、実機によるデモンストレーションでモノづくりの自動化による効果や、新商品の機能や高い生産性を実感できる施設となっております。

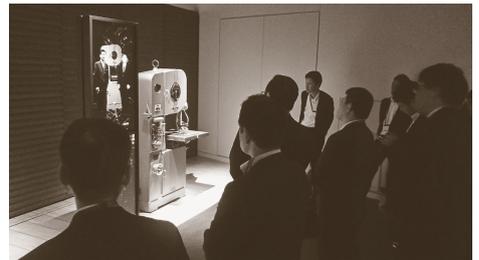
当日はレーザー加工機、曲げ加工機の実演に加え、ロボットを組み込んだ複合機の動きも確認することができ、アマダユーザーであるメンバーは説明担当者に仕様・スペックなどを尋ねておられました。

続いて敷地内にあるアマダ記念会館を見学させていただき、1946年創業時に使用されていた旋盤や日本初の商品化となったレーザー光板金加工機械をはじめとする歴代マシンを見学しました。

昼食はソリューションセンター内のレストランで、ご対応いただいた方を囲み、ランチミーティングとさせていただきました。



(株)アマダ・ソリューションセンター



アマダ記念会館

## (株)神戸製鋼所 藤沢事業所

午後は藤沢市へ移動し、(株)神戸製鋼所 藤沢事業所を訪問いたしました。

藤沢事業所では、溶接棒の生産ラインと溶接ロボット事業部の見学をさせていただきましたが、見学時には雨も上がり、スムーズな構内移動ができました。

溶接棒の生産ラインは、整理整頓が徹底されているだけでなく、湿度管理までされていることで、高いレベルの品質管理がなされていました。

溶接ロボット事業部では実際にロボットを作動させていただき、細やかな動きと省力化などの有用性を確認させていただきました。

見学会終了後は、横浜中華街に移動し、懇親会を開催。現地の中華料理を堪能いたしました。

最後に今回、お世話になりました(株)アマダ、(株)神戸製鋼所の皆様には大変お世話になりましたこと、紙面をお借りして御礼申し上げます。



(株)神戸製鋼所 藤沢事業所



中華街での記念撮影



## 丸一興業株式会社

所在地：〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町3-2-28  
T E L：06-6487-0344 F A X：06-6482-7250  
U R L：http://bolda.jp  
http://www.maruichi-pack.co.jp  
代表者：代表取締役 田中 則彰

皆様こんにちは、今年5月に兵庫工業会に入会をさせていただきました、尼崎市の丸一興業株式会社、代表の田中と申します。どうぞよろしくお願いたします。

### 「にじみ出し」の新規業務・新事業展開

弊社は1960年に船用エンジンなど、重量物の輸出木箱梱包専門会社から始まり、2003年に海外発送代行業務、2005年にCAD/CAMシステムによる強化ダンボール箱製造・梱包業務、2008年に一般貨物トラック運送事業、を始動させ、拠点となる重量物倉庫の増設による利便性の強化など、常にお客様のニーズにお応えしながら、「にじみ出し」ように、新規業務分野を拡大し、中重量物製品の総合物流ソリューション企業に変化をしてみました。

そして2008年、本格的にCI（コーポレートアイデンティティ）を実施し、企業におけるデザインの重要性を身を持って実感したことがきっかけとなり、従来のCAD/CAMによるダンボールカッティング技術をベースに、新しくダンボールディスプレイ什器の開発、製造を行う「bolda（ボルダ）事業部」を2009年に立ち上げました。

当社の紙製ディスプレイ什器の主な原材料は、牛乳パックや酒パックなど飲料用紙パックの製造過程で排出される工場損紙や市中回収の古紙を再生した100%再生紙で、しかも非常に硬くて白い「硬質ミルダン」と呼ばれるダンボール素材です。この世界的にも珍しい再生ダンボールをディスプレイ什器に使用することができるよう、2012年から経済産業省の新連携事業認定を受け、素材メーカーと協力して品質向上に努めてきました。

そして2013年には世界的なプロダクトデザイナーである喜多俊之氏デザインによるミルダン製チェア「MILCA CHAIR」をイタリアのミラノサローネにも出展し、貴重な経験を積むことができました。

「ものを再生して大切に使う」という日本人らしい発想から生まれた関西発の素材と当社独自の設計、加工技術により、従来のやわらかいダンボールでは表現できなかった強度と完成度を備えたビジュアル効果の高い展示什器、店舗什器を各企業様のビジュアルデザインにあわせて印刷・製作し提供しております。

今春には兵庫工業会様にも専用ロゴ入りのパンフレットスタンドを製作させていただきました。また今年9月に開催されました国際フロンティア産業メッセでは当社硬質ミルダン製ディスプレイのブースで優秀賞をいただくことができました。

「独自の技術と素材で環境リサイクル時代にふさわしい、見る人と使う人が感動する新しい時代のディスプレイ什器文化を全国に広げたい」このモットーを忘れず、今年設立10年目となる新規事業（もう新規事業とは呼べないかもしれませんが・・・）を当社のもうひとつの柱とすべく挑戦してまいります。

これからもお付き合いのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



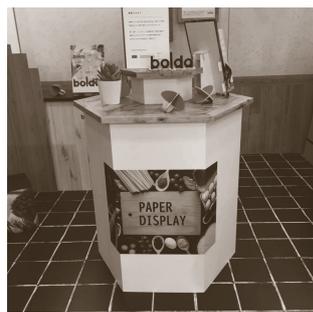
CI後の次屋梱包物流センター



新ダンボール素材「硬質ミルダン」



MILCA CHAIR  
(喜多俊之氏デザイン)



硬質ミルダン製2段展示台  
(国際フロンティア産業メッセ2019出展)



国際フロンティア産業メッセ2019  
受賞盾

# 2019年度 会員交流懇親会“忘年パーティー”（ご案内）

平素は、(公社)兵庫工業会への格別のお引き立てを賜り深く感謝申し上げます。  
さて、今年も恒例により会員交流懇親会「忘年パーティー」を開催致します。皆様の交流を深める目的のもとに、「福引き大会」では豪華賞品を多数取り揃え「物産展」や「きき酒コーナー」等、準備させていただきました。是非、多くの皆様にご参加賜りますようお願い申し上げます。

## 開催要領

日時：2019年12月3日（火） 16:30～19:30  
場所：神戸ポートピアホテル 南館 1F 「大輪田の間」  
神戸市中央区港島中町6丁目10-1 ☎078 (302) 1111  
参加費：13,000円/人

## 会員動向

### 代表登録者変更

企業名	新登録者	旧登録者	年月
株式会社コベルコパワー神戸	代表取締役社長 木本 総一	三木 尚司	2019年10月
株式会社日刊工業新聞社 神戸総局	神戸総局長兼姫路支局長 香西 貴之	花岡 敬二	2019年11月

## 叙勲・褒章の栄

令和元年秋の叙勲・褒章が発表され、当工業会では、次の方がその栄に浴されました。  
会員の皆様とともに、心からお祝い申し上げます。

旭日中綬章	尾上 廣和 氏	グローリー(株) 代表取締役会長
旭日双光章	西河 紀男 氏	三ツ星ベルト(株) 相談役

## イベント情報

月日	事業名・内容	場所
12月3日(火)	会員交流懇親会	神戸ポートピアホテル
12月23日(月)	職域における創意工夫者表彰式	兵庫県公館
2月19日(水)	合同委員会	有馬 古泉閣
3月17日(火)	2019年度第3回理事会	ホテル北野プラザ六甲荘

## 冬期休業の お知らせ

本会では、誠に勝手ながら令和1年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)まで、冬期休業といたします。(令和2年1月6日(月)より通常業務)。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

### 訂正とお詫び

2019年9月号掲載の「代表者登録変更」におきまして、会社名の誤りがありました。  
川崎車両コンポ株式会社と記載しておりますが、正しくは、  
川重車両コンポ株式会社の誤りです。訂正してお詫びいたします。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人  
兵庫工業会

本部 神戸事務所 | 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階  
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp  
URL http://www.hyogo-ia.or.jp  
姫路事務所 | 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階  
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231